

いのちを語る

安楽死・尊厳死言説といのちの学び



2010年代の後半から、(命の選別)や〈優生学〉に関わる事件が立て続けて起きています。2016年7月26日障害者施設「津久井やまゆり園」事件、2019年10月17日公立福生病院透析中止事件、2019年7月23日京都ALS患者「囑託殺人」事件。社会が多様化、複雑化する中、いのちに対する考えや畏敬の念や思いが変わってきているのではないのでしょうか。

前回の緊急 Zoom セミナー「いのちを語る」では、「京都 ALS 囑託殺害事件と人工呼吸器のトリアージ」を取り上げ、人間のいのちを切り捨てたり、見捨てたりするようにも見える事柄について考えました。患者や障がい者の側から見て、何が問題なのか。医療の側から見て、何が問題なのか、社会のあり方にとって何が問題なのかを議論しました。

今回は、安楽死や尊厳死についての言説のあり方の変化について学びながら、いのちの大切さについての人々の感性がどのように変わってきたのかを考えていきたい。また、いのちの尊さをどのように語り、伝えたら良いのかを考えていきたいと思います。

講師として、ポリオ・サバイバーであるとともに、高校での「生命倫理教育」の草分けであり「尊厳死」言説の研究者でもある大谷いづみさん(立命館大学産業社会学部教授)、生殖医療や臓器移植などの先端医療技術や安楽死・尊厳死などの問題を研究して来られた安藤泰至さん(鳥取大学医学部准教授)、死生学や生命倫理の研究活動を行っている島菌進さん(上智大学特任教授、東京大学名誉教授)です。

多くの方に聴講いただき、いのちの尊さをどのように捉え、伝えていけるか、ともに考えていければ幸いです。

記

日時 : 2020年10月11日(日) 14時~16時30分 Zoom 受付は13時30分より開始

テーマ : 安楽死・尊厳死言説といのちの学び

講師 : 安藤泰至さん 鳥取大学医学部 准教授
大谷いづみさん 立命館大学産業社会学部教授
島菌進さん 上智大学特任教授・東京大学名誉教授

進行 : 約60分間 各講師からの問題提起
約40分間 講師3人による鼎談
約40分間 参加者からの質疑、意見交換

参加費 : 無料。ご寄付をお願いします。寄付口座 横浜銀行鶴見支店 店番号 361 普通口座 1550312 神野玲子
・参加は事前予約とします。(予約受付は、即日から10月7日まで)

予約方法

- ・予約は名前(ふりがな必須)、連絡先(E-mail 必須)、職種・団体(任意)を明記の上、下記E-mail 先へ申し込みください
- *連絡先のE-mail アドレスを誤ると参加案内が送れませんので注意を!
- E-mail : jreikochan@yahoo.co.jp 神野玲子

案内送付

- ・予約された方には 10月8日頃、案内およびZoomのURLを電子メールにてお送りします。

問い合わせ先 : E-mail : jreikochan@yahoo.co.jp または 携帯電話 : 090-2669-0413 神野玲子

主催 : ゲノム問題検討会議 (ホームページ <https://genome714.com/>)



こちらからも
お申し込み可能